

完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付: 2022年7月15日

事業ID: 2021000625

事業名: 茨城県つくば市における「子ども第三の居場所」コミュニティモデルの開設と運営(1年目)

団体名: 特定非営利法人居場所サポートクラブロベ

■事業内容1

(1)助成契約書記載の事業内容(予定)

1.「子ども第三の居場所」の整備
物件現況:個人所有施設(築36年)
取得形態:個人財産使用許可(無償賃貸)
内容:木工事、電気工事、備品・家電購入、車両整備など
施設名称:カフェ・ロベ
面積:総面積約196.78m²
構造:木造2階建て
施設概要:食事・交流・学習スペース、キッチン、お風呂、相談室など

(2)事業完了時の事業内容(実績)

1.「子ども第三の居場所」の整備
物件現況:個人所有施設(築36年)
取得形態:個人財産使用許可(無償賃貸)
内容:木工事、電気工事、備品・家電購入、車両整備など
施設名称:「みんなのカフェ・ロベ」とする。
面積:総面積約196.78m²
構造:木造2階建て
施設概要:食事・交流・学習スペース、キッチン、お風呂、相談室など



(3)成功したこととその要因

コロナ禍の影響により資材納入が大幅に遅れ、工事完了が予定よりも4カ月遅れたが、内覧会を開催し関係各所や近所の住民の方々との交流を図り、今後の利用につながったと考える。内覧会会場では、利用予定の子供たちによるエコバッグ作成及び販売企画を行い、盛況を修めた。

(4)失敗したこととその要因

コロナの影響による建築資材不足により納入がされずリフォーム工事が大幅に遅れ、予定していた開始日程どおり開所できず、運営開始が遅れた。

(5)事業内容詳細

コロナ禍の影響により資材納入が大幅に遅れ、工事完了が予定よりも4カ月遅れた。
6/16カフェロベの建物の引渡しを行なった。その際螺旋階段の安全性を強化するため、ネットを設置することとした。また、室内からしか螺旋階段には入れないよう、追加工事予定。

■事業内容2

(1)契約時の事業内容

・「子ども第三の居場所」コミュニティモデルの運営
 (1)期間:2021年10月1日～2022年3月31日(週3日、14～20時)
 (2)場所:茨城県つくば市緑が丘団地内
 (3)対象:家庭や自身に課題を抱えた小中学生を中心に20名
 (4)内容:「子ども第三の居場所」をつくり、子どもとの1対1の関係を重視しながら、地域住民や保護者も参加のもと、子どもたちの生活習慣形成や学ぶ意欲向上を支援することで社会的相続を補完する。



(2)事業内容の実施(完了)状況

開設事業延期のため、運営事業は実施できず。

(3)成功したこととその要因

・展示会をする時間があつたので、細田工務店さんにて内覧会を開催。関係各所や地域の皆様との交流を持てたことにより、今後の活動に協力してくれそうな人脈作りが出来た。
 ・寄付チラシを作成し、ご近所にポスティングをして、地域に広く周知できた。
 ・地域の回覧板にてチラシを回覧し、ボランティアさんや利用者さんからの反響を得た。
 ・地元のライオンズクラブの会合に出席し、活動を周知したところ、寄付金を獲得できた。
 ・利用予定の子供達と、経済活動についての勉強の一環としてエコバッグを作成し、内覧会で販売したところ大盛況を修め、売上金を獲得でき、子供達にも経済流通の仕組みを勉強する機会を提供することが出来た。
 ・笠間拠点と、長野拠点(3拠点)の視察が出来、メニュー作りや活動内容を見学させてもらい、今後の活動の参考になった。

(4)失敗したこととその要因

コロナの影響により工事計画が大幅に遅れ、予定していた活動が思うように進まず期間延期を余儀なくされた。

(5)事業内容詳細

開設事業延期のため、運営事業は実施できなかったが、地域住民との交流を持ち、カフェロベを周知できた。

2.契約時事業目標の達成状況:

(1)助成契約書記載の目標

■開設事業2021年10月1日までに「子ども第三の居場所」コミュニティモデルを開設する。
 ・運営開始までに関係各所(国・県・市議会議員、自治体、各企業、学校、寄付者、民生委員、緑が丘自治会、SSWなど)へ事業の説明会を実施する。
 ■運営事業
 ・2022年3月31日までに一日の平均利用児童数を15名にする。
 ・ボランティア等の地域住民や、行政、学校との関係構築、多世代交流機会の提供。
 ・子どもの「経験の不足」を解消するようなイベントを事業期間内に10回以上実施する。

(2)目標の達成状況[700文字以内]

入力文字数	305	文字数チェック	OK
目標はいずれも達成できなかったが、細田工務店さんにて内覧会を開催。関係各所や地域の皆様との交流を持てたことにより、今後の活動に協力してくれそうな人脈作りが出来た。 寄付チラシを作成し、ご近所にポスティングをして、地域に広く周知できた。 地域の回覧板にてチラシを回覧し、ボランティアさんや利用者さんからの反響を得た。 地元のライオンズクラブの会合に出席し、活動を周知したところ、寄付金を獲得できた。			

3.事業実施によって得られた成果

毎月ご利用のレギュラー会員には食堂利用の際ポイントカードにスタンプし、ポイントがたまるとプレゼントがもらえる特典をつけ、レギュラー会員を増やしていく。子ども食堂の運営において、ペイフォワードを採用予定。事前に誰かが多くお支払した食事費用、寄付金を、低所得の子どもがその費用を使い食事ができるルールを構築予定。
日本語教室・中国語教室など習い事教室を開催する。
子ども食堂のない空日はレンタルルームとして活用。

4.活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案

入り口が思ったより狭いので、表の駐車場スペースから入ることとしたい。
それによって駐車場スペースがなくなったので、歩いて3分ほどの場所にある駐車場を借りることとした。
現在5台分契約したが、今後はもっと必要になるかもしれない。
6/16カフェロベの建物の引渡しを行なった。その際螺旋階段の安全性を強化するため、ネットを設置することとした。また、室内からしか螺旋階段には入れないよう、追加工事予定。

5.事業成果物

(1)助成契約書記載の成果物名称

・建築物(写真等)
・事業報告書



(2)事業完了時の成果物名称

・建造物(写真)
・事業報告書
・カフェ・ロベ看板(1枚)
・チラシ(3000部)
・エコバッグ
・のぼり旗(8枚)